



# J R 連 合 NEWS

JRに集う  
すべての仲間の  
JR連合への  
総結集を!!

2020 年度

No. 102

2021年6月7日

日本鉄道労働組合連合会

**3産別要請行動【第4弾】** ~サービス連合・航空連合と連携!~

**「#立憲コロナ相談会」に出演し交通・観光産業への支援訴える**



立憲民主党がYouTubeなどでライブ配信した「#立憲コロナ相談会 Vol.7 緊急事態が再延長。観光・交通産業への支援はどうなる？」に3産別からJR連合荻山市朗会長をはじめ、サービス連合石川聡一郎事務局長、航空連合島大貴会長が出演した。立憲民主党からはコロナ対策

本部長の逢坂誠二議員、司会の尾辻かな子議員が出演した。

荻山会長からは、2021年3月期の厳しい決算や3度目となる宣言下における輸送動向をデータやグラフを用いて説明するとともに、職場で組合員が取り組んでいる感染予防対策を紹介した。その上で、JRの固定費の割合が高い事業特性や離職・新規採用減といった課題、これまで取り組んできた自助努力や政策要望の取り組みなどについて説明した。これに対し、逢坂議員からは、「列車の中でクラスターは発生していない。職場における感染症対策の成果であり、列車による移動は危険ではないと認識すべきである。また、JR産業の現状はもはや止血の段階ではなく、体質改善が求められていると強く感じた」との意見が述べられた。



△配信の様様は  
こちらのQR  
コードから視  
聴できます

また、サービス連合や航空連合からも産業の現状や課題、解決に向けた取り組みなどが示され、その後視聴者からの声が紹介されるなど、世論が我々の取り組みに共感を持って受け止めていることが明らかになった。

最後のコメントで荻山会長は、組合員の労苦を踏まえ「コロナ禍の不自由な生活で皆さんが心の余裕をなくしトラブルが発生しがちだが、駅員や車掌も懸命に対応している。思いやりを持ってルールを守り、旅行や出張など徐々にご利用の機会を増やしていただければありがたい」と訴えた。